

2019年度事業報告

公益財団法人 日本建築衛生管理教育センター

2019年度事業報告

1 講習会事業

建築物環境衛生管理技術者講習会は、定期開催地区の14コースに松山会場1コースを加えた計15コース、知事登録講習会は、新規講習会を50コース、再講習会では69コース、合計134コースを実施し、受講者数は9,668人であった。

講習会の実施にあたっては、教務委員会及び試験問題委員会、修了認定委員会等を適宜開催し、講習会事業の適正な運営及び講習会の充実と受講環境の向上に努めた。

(1) 建築物環境衛生管理技術者講習会

講習会の種類	2019年度計画		2019年度実績	
	コース	受講者数 人	コース	受講者数 人
建築物環境衛生管理技術者講習会	15	1,310	15	1,365

(2) 知事登録講習会

講習会の種類	2019年度計画		2019年度実績	
	コース	受講者数 人	コース	受講者数 人
新規講習会	50	3,510	50	2,852
① 清掃作業監督者	11	940	11	721
② 空気環境測定実施者	8	360	8	354
③ ダクト清掃作業監督者	1	20	1	22
④ 貯水槽清掃作業監督者	11	960	11	804
⑤ 排水管清掃作業監督者	3	200	3	188
⑥ 防除作業監督者	4	300	4	268
⑦ 統括管理者	6	380	6	243
⑧ 空調給排水管理監督者	6	350	6	252
再講習会	69	5,280	69	5,451
① 清掃作業監督者	14	1,320	14	1,417
② 空気環境測定実施者	8	580	8	588
③ ダクト清掃作業監督者	2	30	2	24
④ 貯水槽清掃作業監督者	20	1,750	20	1,775
⑤ 排水管清掃作業監督者	4	230	4	255
⑥ 防除作業監督者	7	530	7	515
⑦ 統括管理者	7	450	7	500
⑧ 空調給排水管理監督者	7	390	7	377
計	119	8,790	119	8,303

講習会合計(1)+(2)	134	10,100	134	9,668
--------------	-----	--------	-----	-------

(3) 2019年度地域別開催数（134コース）

区分	札幌	仙台	東京	名古屋	大阪	広島	福岡	沖縄	その他	合計
管理 技術者	1	1	6	1	4	0	1	0	1	15
知事 登録	9	3	49	6	33	4	12	1	2	119
(前年度実績) 合計	(7) 10	(2) 4	(67) 55	(7) 7	(43) 37	(3) 4	(8) 13	(3) 1	(5) 3	(145) 134

※ その他：管理技術者1（松山）、知事登録2（貯再：富山・鹿児島）

(4) 講習会の円滑な実施等

1) 講習会関連委員会の開催

講習会の適正、かつ円滑な実施を目的に、教務委員会を始めとした委員会を下記のとおり開催した。

（委員会開催実績）

・教務委員会	1回
・試験問題委員会	4回
・受講資格委員会	23回
・修了認定委員会	7回
・地区委員会	7回
・教授打合会	6回
・各知事登録講習会委員会	34回

2) 講習会テキストの作成等について

建築物環境衛生管理技術者講習会テキストについては、「新 建築物の環境衛生管理」（第1版2刷）を発行した。

知事登録講習会テキストについては、各知事登録講習会委員会を編集組織として法律改正等を取り入れた改訂を行うとともに、知事登録講習会全般で使用する副教材「建築物環境衛生制度」については、第6版1刷を作成した。

(5) 中央協議会等への協力

関連団体の行う従事者研修が円滑に実施されるよう、貯水槽管理、排水管清掃及び空気調和用ダクト管理の各中央協議会の事務局として運営に協力した。

2 国家試験事業

建築物衛生法に基づく指定試験機関として、第49回建築物環境衛生管理技術者試験を次のとおり実施した。

試験実施にあたり、試験委員会（試験実施方針の決定及び合否判定の2回）、幹事委員会（試験問題の選定4回）を開催し、適正、公正な試験の実施に努め、合格基準及び正答並びに試験問題について、ホームページに掲載し公表した。

また、受験者からの科目別得点等の個人情報の開示請求については、86件の請求があり、個人情報保護規程に基づき開示した。

(1) 試験日程等

- 1) 試験日 2019年10月 6日（日）
 2) 合格発表日 2019年11月 5日（火）
 3) 試験地 全国6地区 9会場
 （札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、福岡市）

(2) 受験者数等

	① 受験票交付数 人	② 受験者数 人	③ 合格者数 人	④ 合格率 (③/②) %
2019年度実績 (2019年度計画)	13,233 (13,300)	10,146	1,245	12.3
前年度実績	14,235	11,069	2,339	21.1

3 検査事業

建築物衛生法施行規則に基づく室内浮遊粉じん計の較正、飲料水の水質検査並びに水道法に基づく簡易専用水道の管理の検査、給湯設備等におけるレジオネラ属菌の検査等を下記のとおり実施した。

(各種検査実施件数)

	2019年度計画 件	2019年度実績 件
室内浮遊粉じん計の較正	6,850	7,037
飲料水の水質検査	1,150	1,125
簡易専用水道の管理の検査	500	462
防錆剤品質規格検査	5	4
レジオネラ属菌の検査	500	480

4 調査研究事業

建築物環境衛生管理における技術面の充実と関連情報集積のため、センターにおいて調査研究を実施するとともに、関連学会等の外部関係機関との連携、技術提供及び研究助成を行った。

(1) 調査研究

1) センター調査研究

- ・ 課 題 「個別空調における衛生管理の実態調査」
期 間：2019年度

2) 研究助成事業

① 指定調査研究

- ・ 課 題 「粉じん測定に関する試験用粒子の現状」
研究者：桜井 博（国立研究開発法人産業技術総合研究所）

② 一般公募調査研究

- ・ 課 題 1 「建物環境における微生物群集メタゲノムに関する研究」
研究者：鈴木 治夫（慶應義塾大学環境情報学部准教授）
- ・ 課 題 2 「建築物環境衛生管理技術者のための給排水衛生設備教材の見える化」
研究者：山崎 和生（山崎技術士事務所）
- ・ 課 題 3 「レジオネラ属菌検査における特定酵素基質培地の有用性」
研究者：石崎 直人（麻布大学生命・環境科学部准教授）
- ・ 課 題 4 「逐次検定法を用いた空気中浮遊粉じんの迅速判定法」
研究者：西村 直也（芝浦工業大学建築学部教授）

(2) 研究発表、シンポジウム等の開催

建築物環境衛生管理全国大会において、下記のとおり研究発表、シンポジウム等を開催した。

- ・ 研究発表 23題（調査研究部門 15題、事例報告部門 8題）
- ・ シンポジウム 「建築物における危機管理」
座長：柳 宇（工学院大学建築学部建築学科教授）
- ・ 専門講座 「2020年東京オリンピックに向けたネズミ・昆虫等防除」
講師：元木 貢（公益社団法人東京都ペストコントロール協会副会長）
- ・ 特別講演 「建築分野におけるドローン技術の現状」
講師：宮内 博之（国立研究開発法人建築研究所材料研究グループ主任研究員）

(3) 関連学会等との連携

日本防菌防黴学会、日本空気清浄協会、日本エアロゾル学会、室内環境学会等へ参加し、調査研究成果の発表及び技術、知見の向上を図った。

5 出版及び広報事業

(1) 出版事業

(2019年度の出版及び販売)

書 籍 名	作製実績	販売実績
季刊誌「ビルと環境」	3,630部	1,637部
新 建築物の環境衛生管理(第1版1刷)	—	455部
新 建築物の環境衛生管理(第1版2刷)	4,100部	—
レジオネラ症防止指針(第4版)	—	186部
改訂特定建築物における建築確認時審査のためのガイドライン	—	84部

(2) 広報事業

1) 第47回建築物環境衛生管理全国大会

- ・メインテーマ 建築環境のリスクと安全を考える
—東京オリンピック・パラリンピックを機に—
- ・実施 2020年1月23日(木)・24日(金)
- ・会場 東京：(一財)日本教育会館一ツ橋ホール
- ・行事 式典、特別講演、専門講座、シンポジウム、研究集会
- ・参加者 延べ1,100名(2日間)

2) 全国大会式典における表彰

- ・建築物における衛生的環境の確保に関し顕著な功績のあった者
厚生労働大臣表彰：19名
センター会長表彰：25名
- ・第46回全国大会研究集会優秀発表表彰
調査研究部門：優秀賞2題、特別賞1題を表彰
事例報告部門：最優秀賞1題、優秀賞2題、奨励賞2題を表彰